JEITA
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

開催日：2010年9月22日

情報端末フェスティバル 2010 in 京都

■主　　催：情報端末事業委員会
■担当部署：インダストリ・システム部
■参加者数：約120名

概　　要

情報端末事業委員会では、ユビキタス情報社会での情報端末がいかにあるべきかを研究し、我が国の情報端末の新しい分野への発展・普及とこれからの需要喚起を図っていくため、コンピュータのキーコンポーネント（ディスプレイ、磁気ディスク装置）、コンピュータの機能を拡張する装置（プリンター、イメージスキャナ）、業務用装置（金融端末、流通POS端末、ハンディーターミナル、OCR、KIOSK端末）を情報端末と位置づけ、各製品ごとに専門委員会やワーキンググループを設け、技術動向・市場動向・各種標準の作成等の調査研究活動を行っており、研究内容の発表の場として毎年情報端末フェスティバルを開催しています。
情報端末フェスティバルは、去る6月2日に東京にて第14回目を開催いたしましたが、この度、当該フェスティバルに於いて特に反響の大きかった3つの特別講演を柱と致しまして、関西地区（於：京都リサーチパーク）にて初めて開催をいたしました。
フェスティバル当日は、基調講演として、経済産業省山室芳剛課長補佐より我が国ITエレクトロニクス産業の苦戦の原因や産業全体の抱える課題を踏まえた上で、今後のIT産業活性化に向けた成長戦略を紹介して頂きました。また、ITジャーナリスト林信行氏からは今春発売され、既存のメディアの在り方を大きく変えているiPadの今後の市場の可能性について説明を頂きました。最後に、東京大学小川紘一教授より我が国のエレクトロニクス産業の新たなビジネスモデルについて提言を頂き、活発な意見交換が行われました。

プログラム

○「情報経済革新戦略について」
　経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 環境調和産業推進室 課長補佐　山室芳剛 氏

○「iPhone、iPadが生み出す新しい市場」
　ITジャーナリスト　林　信行 氏

○「我が国エレクトロニクス産業が置かれた21世紀の経営環境」
　東京大学　小川紘一 氏